



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和2年11月20日(令和2年度 第7号) 発行責任者 大島町立第一中学校長 牧野 英一

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

コロナ禍における学校行事

副校長 藤本 達

1年前、日本においてラグビーワールドカップが開催され、日本チームの大活躍や世界のスーパープレーに日本中が湧いていました。私も実際に競技場で観戦し、歓声を上げたり外国人のファンと拙い英語で交流したりと大興奮の1ヵ月半でした。本来であれば、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から多くの方々が来日され、各地で交流したり、日本選手の活躍や世界一流のプレーに酔いしれたりするはずでした。しかし、昨年度末からのコロナ禍で大会は延期となり、その他様々な関連行事も中止や延期となっております。

東京オリンピック・パラリンピック関連行事だけでなく、各種大会や催し物、会議等、多くの人が集まる行事の実施が難しい状況がしばらく続いています。夏の甲子園に代表される全国大会等に向けて何年も努力してきた生徒たちが目標を失い、失望感と悲しみにくれる場面がメディア等で多く取り上げられました。

私が以前勤務していた学校では、運動会は行ったものの、競技は徒競走と表現運動に限り、当該学年の保護者のみ校庭に入れる入れ替え制で実施。校庭に入れない保護者や地域の方は You Tube で運動会を視聴したそうです。また、修学旅行や文化祭、校外学習等の行事は全て中止となったそうです。日本の多くの学校でも各種行事が中止や延期となり、実施する場合も内容の削減や縮小、各種コロナ対策等、例年とは異なるギリギリの形で行っているのが殆どようです。

そんな中、今月8日に東京・国立代々木競技場で行われた体操の国際大会の閉会式で体操の内村選手が「非常に大変なことであるというのは僕も承知の上」と語った上で「コロナウイルスの感染が拡大し、国民の皆さんが『五輪ができないのでは』という思いが80%を超えているのが残念。しょうがないと思うけど『できない』ではなく、『どうやったらできるか』を皆さんで考えて、どうにかできるように、そういう方向に変えてほしいと僕は思います」とご自身の考えを表明されました。内村選手のように「開催してほしい」という意見に対し「開催すべきでない」と考える選手もいるでしょう。

ここ数日で過去最大の感染者数が更新を続け、日本ばかりではなく世界中でまだまだ先の見えない、不安や心配の多い日々が続いています。これまで当たり前であったことが当たり前でなくなり、辛い思い、苦しい思いをしている人がたくさんいます。「コロナ禍において無理に学校行事を実施しなくてもよいのでは」という意見は少なからずあるかもしれません。全員が納得する答えを出すことはとても難しい問題だと思います。

本校では夏休み以降、運動会やマラソン大会、一中祭と例年実施している学校行事はコロナ感染予防対策をしっかりとったうえで、今のところ予定通り実施しています。「コロナ禍だからしょうがない」「できない」と考えるのではなく「どうしたらできるか」「どうしたらコロナ感染リスクを抑えられるか」と考え、本校教職員はもちろん、PTA 役員や保護者の方々、地域の方々等と何度も話し合っただけで知恵を出し合い、様々な努力や工夫のもと学校行事を実施することができています。一中学生の皆さんにはこれまで当たり前だった学校行事についても一度見つめ直し、こうした陰で支えてくれている方々の努力や工夫に気付き、感謝の気持ちをもって学校行事に取り組んでほしいと思います。また、こうした状況下でも実施できる行事を最大限生かし、よりよい学校生活や大きな成長につなげてほしいと願っています。

令和2年度 学年弁論大会

R2. 10. 24

1年生

1年担当 伊藤 太一

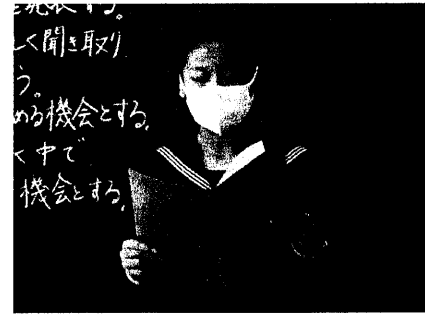
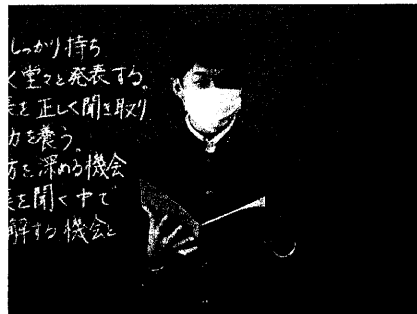
1年生にとっては中学校で初めての学年弁論大会。関心のあるテーマに対して調べたり、考えたりして、自分なりに意見をまとめ、聞いてくれる人に分かりやすく伝えることを目標に、準備から一生懸命に取り組んできました。普段から同じ教室で関わる人が多い生徒達ですが、弁論を通じて、クラスメイトの新たな一面に気づく等、互いの理解を一層深められたのではないのでしょうか。当日、ご参観頂いた保護者の皆様、地域の皆様、どうもありがとうございました。



2年生

2年担当 牧野 優樹

2回目の学年弁論大会は、昨年よりもテーマが広くタイトルから聞き手の興味関心を引き付けるものがありました。一人一人がこれまでさまざまなものに疑問や考えを持ちながら生活してきた成果だと思います。道徳で扱った内容をさらに深めて論じている生徒も何人もいました。学年弁論大会をやるにあたって、特に「傾聴力」をつけてほしいという話がありました。今回の発表を聞いて、同級生が「こんなことを考えているのか!」という驚きと発見がありました。本選へは3名しか選出できませんが、何人も本選に出て聞いてほしいと思うような学年弁論大会になりました。当日、ご参観頂いた保護者の皆様、地域の皆様、どうもありがとうございました。



3年生

3年担当 西山 裕子

3年生にとって中学最後の学年弁論大会。作品の多様なテーマ設定から視野の広がりや関心の深まりを感じました。また、説得力のある内容構成、表現力に磨きがかかった発表から3年間の成長が見受けられました。ご参観頂いた保護者の皆様、地域の皆様、温かいご意見・ご感想を誠にありがとうございました。



大島町駅伝競走大会

11月1日(日)に第64回大島町駅伝競走大会が行われました。一中では町行事に全校体制で取り組んでおり、駅伝競走大会でも選手、補欠、グランドメンバー、マネージャー、吹奏楽がそれぞれ汗を流して練習に励みました。

大会当日、選手は自分と仲間を信じて素晴らしい走りで襷を繋いでくれました。特に女子Aチームでは中学生の部で優勝を飾り、大会3連覇を成し遂げました。また、多くの選手が自己ベストを更新し、素晴らしい大会となりました。保護者の皆様のご協力とご声援に心から感謝申し上げます。

【男子A】中学生の部3位 1時間40分11秒

小杉鷹矢君、幡野丈一郎君、荒谷壮太君
関口涼太君、木中琉晟君、澤田陽太君

【女子A】中学生の部1位 1時間53分43秒

森川乃野さん、長井綾花さん、佐々木寧々さん
網谷思帆さん、天野涼子さん、諸星結歩さん

【男子B】中学生の部5位 1時間50分06秒

植木詠章君、鶴崎颯馬君、植松詢也君
矢島来翔君、青山陽一君、市村松大君

【女子B】中学生の部3位 2時間03分21秒

横川陽希さん、横川希凧さん、熊野美羽さん
幡野真生さん、吉田留巳さん、小林星南さん

【区間賞】 2区 長井綾花さん 12' 36

4区 網谷志帆さん 11' 16



【生徒感想】

男子キャプテン 小杉 鷹矢

今年は様々な行事が中止となる中、駅伝競走大会が開催されて本当に良かったです。駅伝練習では、選手それぞれが昨年よりも良い記録をだそうと必死に練習に励みました。結果は中学生の部で男子Aチームが3位、男子Bチームが5位でした。都大会に出場はできませんでしたが、レース本番の記録は練習よりも良い記録を出すことができ、襷をしっかりと繋ぐことができました。駅伝大会を開催していただいたこと、たくさんの方に応援をしていただいたことに感謝をしたいと思います。

女子キャプテン 佐々木寧々

私たちは11月1日に行われた駅伝競走大会に出場しました。結果は中学生の部でAチームは1位、Bチームは3位でした。選手、補欠だけではなく、グランドで一緒に走ったメンバーやマネージャーも共に全力で取り組むことができました。チーム一中として全員で取り組んできた成果が本番での良い結果につながったと思います。来年も4連覇を目指して、チーム一丸となって頑張ってください。応援をしていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



東京都駅伝競走大会

東京都中学校駅伝競走大会へ出場しました。大会当日は晴天に恵まれ、生徒たちは大島の代表として素晴らしい走りをしてくれました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、参加校が絞られレベルの高い大会となりましたが、選手たちは大島で積み重ねた練習の成果を発揮し、最後まで粘り強い走りで襷をつなぎました。応援していただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

【結果】 31チーム中 28位 (50分08秒)



保健体育科 折田 弘之

【出場選手たちのコメント】

佐々木 寧々 (3年)	私は今回1区を走り、周りのスピードの速さからレベルの違いを感じました。チーム順位も31チーム中28位という少し悔しい結果だったので、陸上に関わらず勉強などでも都に追いつけるよう頑張っていきたいです。そして、ここまで応援してくださった方々、本当にありがとうございました。
天野 涼子 (3年)	今年の東京都駅伝大会では、出場校がコロナの関係で少なく、全体的な走力がとても速く感じました。その中でも私たちが大島代表として出られたことがうれしかったです。仲間みんなと襷をつないで走ることが最高に楽しい事なんだと都駅伝に行って改めて思いました。私はこの仲間で3年間駅伝をすることができて、本当に楽しかったです。
長井 綾花 (3年)	去年、補欠として都駅伝に行ったけれど、今年は選手として行けたので実際の大会の雰囲気やレベルの高い人たちとのレースを経験できて新鮮だったし楽しかったです。遠征全体はとても良い思い出になってよかったです。また来年も、一中が都大会に行っていきたいと思いました。
森川 乃野 (3年)	1・2年生の時にいった都駅伝とは少し違い、出場するチームが少なく、速い選手が多かったです。私は2区の2kmを走りました。3年で最後に走ることができました。このメンバーで駅伝に行くことができ、いい思い出になりました。来年も期待しています。ありがとうございました。
諸星 結歩 (3年)	私は最後の都駅伝で走ることはできなかったけど、補欠として選手の人たちをサポートできたし、練習時からチーム全員で楽しくできたのでよかったです。
網谷 思帆 (2年)	私にとって2度目の東京都駅伝大会でした。他の学校は、陸上部ばかりで、とても緊張しました。先輩のような走りはできませんでしたが、しっかりと襷をつなぐことができました。来年は4連覇をし、また東京都駅伝大会に出場できるように頑張ります。
幡野 真生 (1年)	初めての都駅伝でしたが、すごく楽しかったです。私は選手ではなく補欠として都駅伝に行かせてもらったのですが、初めての事だらけで先輩についていくばかりでした。大会では、陸上部のトップクラスしかいない中、一中の選手はリラックスして楽しそうでした。私はそんな先輩を見て、かっこいいなと思いました。そこで私は、来年も都駅伝に行き、私と同じ気持ちに次入ってくる子たちになってほしいと思いました。先輩をお手本に来年も頑張りたいです。
熊野 美羽 (1年)	初めての都駅伝ですごく緊張したけれど、補欠としてみんなをサポートできてよかったです。全体で28位でとてもうれしかったです。来年も都駅伝に出れるよう一生懸命がんばりたいです。

校内マラソン大会

5日(木)に晴天の中、校内マラソン大会をサンセットパームラインで実施し、スタート前には清掃活動も行いました。一中では、町の駅伝大会へ向けての練習を駅伝選手だけでなく、全校体制で取り組み、校内マラソン大会へ向けて全員が練習を積んできました。2, 3年生は昨年より良いタイムで走れた生徒が多く、1年生も初めてのマラソン大会でしたが自分の目標を目指して一生懸命に走り、男子は6.7km、女子は3.9kmという距離を今までの練習の成果を発揮し、走りきりました。沿道でご声援頂いた保護者の皆様ありがとうございました。



保健体育科 谷戸 エレナ

【入賞】

	男 子	記 録	女 子	記 録
1位	木中 琉晟 (2年)	28' 37	佐々木 寧々 (3年)	18' 00
2位	荒谷 壮太 (3年)	28' 58	天野 涼子 (3年)	18' 51
3位	幡野 丈一郎 (3年)	30' 58	網谷 思帆 (2年)	19' 05
4位	小杉 鷹矢 (3年)	31' 02	長井 綾花 (3年)	19' 07
5位	植松 詢也 (2年)	32' 25	諸星 結歩 (3年)	19' 34
6位	関口 涼太 (3年)	33' 25	森川 乃野 (3年)	19' 35

租税教室

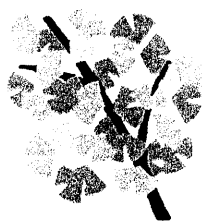
10月28日(水)、3年生を対象とした租税教室が行われました。港区芝納税貯蓄組合連合会より税理士の菅野真美さんにご来校いただき、税理士の仕事から税金の仕組みや集め方、役割まで幅広く税について学びました。講義の後には「税の納得のいく集め方」についてグループで話し合い、税の公平性について考えを深めるとともに、税を通して社会の一員としての役割を学ぶよい機会となりました。また、夏休みの宿題として取り組んだ「税についての作文」で、天野涼子さん(3年)の作文が「芝納税貯蓄組合連合会会長賞」に入選いたしました。

社会科 西山 裕子



地域清掃 (11月ボランティア活動)

11月5日(木)、マラソン大会スタート前に仲の原園地周辺のごみ拾いを行いました。空き缶、ペットボトル、発砲スチロールのかけら、細かく砕かれたプラスチック、壊れた塵取り等、様々なごみが散乱していました。短い時間でしたが、生徒たちが集中して取り組み、今回も大量のごみや漂流物などを回収することができました。こうした機会を通じて、地域に貢献するだけでなく、大島の自然や美しさを守る意識だけでなく、自然や美しさを維持する難しさも学ぶ機会になりました。



12月行事予定

2日(水) 期末考査(終)
4日(金) 小学生への学校説明会
8日(火) 三者面談(始)
12日(土) 学校登校日
14日(月) 三者面談(終)
18日(金) 俳句教室

22日(火) オリ・パラ授業
25日(金) 終業式 避難訓練 大掃除
弁当持参
SC出勤日 3日(木)、4日(金)
17日(木)、18日(金)